

津波漂流物の影響評価技術の体系化WG 技術資料の審議過程(1)

基本方針に対する審議

- 2023年10月18日：第1回技術文書審議タスク。技術文書の基本方針段階審議を実施。
- 2023年12月21日：原子力土木委員会にて技術文書審議タスクによる基本方針段階審議の結果を報告。

最終段階での審議

- 2025年11月5日：第2回技術文書審議タスク。技術文書の最終段階審議を実施。
- 2025年11月13日：原子力土木委員会メンバーにEメールにて標記技術文書に対する技術文書審議タスクの評価結果を連絡。アンケート調査にて、評価結果の承認に関する審議を開始。
- 2025年12月12日：委員総数37名のうち、技術文書審議タスク、津波評価小委員会、津波漂流物の影響評価技術の体系化WGの関係者5名を除いた32名中、26名の委員より「賛成」を得た。委員総数の2/3以上（22名以上）の賛成を得たので、技術文書原案に対する技術文書審議タスクの評価結果は承認された。

津波漂流物の影響評価技術の体系化WG 技術資料の審議過程(2)

- 2025年12月16日：津波漂流物の影響評価技術の体系化WGの富田主査、甲斐田幹事長に技術文書の修正依頼。
- 2026年1月6日：津波漂流物の影響評価技術の体系化WGの甲斐田幹事長より修正された技術文書提出。
- 2026年1月26日：海岸工学委員会、構造工学委員会、日本建築学会・津波荷重改定小委員会に外部意見照会（2026年1月26日～2月26日）。
- 2026年2月27日：技術文書審議タスクのメンバーに外部意見照会の結果を報告。津波漂流物の影響評価技術の体系化WGへ対応を依頼。
- 2026年4月16日：原子力土木委員会の委員に向けて修正された技術文書（最終版）と修正対応表を送付。
- 2026年7月23日：原子力土木委員会において最終審議